

心ふれあい SA吹田通信 第 118 号

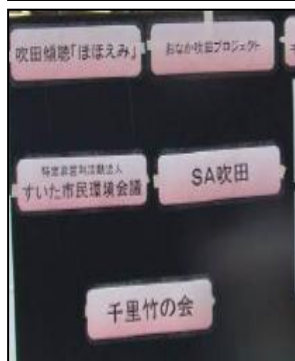
発行 SA 吹田事務局 〒564-0032 吹田市内本町3丁目3番33号 TEL 06-6382-1872
ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.htm>

東日本大震災復興支援チャリティー

3月10日(日)、サンクス夢広場で、東日本大震災復興支援チャリティー“みんなの元気・東北へ”の激励会が開催されました。これは、震災直後結成された、東北被災者支援のボランティア団体“復興支援すいた市民会議”の主催です。井上市長も駆けつけ、激励の言葉を述べておられました。出店は少なかったですが、被災地東北の物産展やボランティア連合会等のフードコート、SA吹田など支援団体の発表等がなされました。SA吹田おもちゃのバルーン・アートは子供を引き付けましたが、残念ながら正午以降の雨と冷風で寒く、観客が少なかったです。

金馬 弘昌 (20期)

色とりどりのバルーンの犬、兎、花飾り等子供に人気で、無償ですが感謝と東北への激励として、心の込めた募金も頂きました。ボランティア連絡会の芋煮も初め硬かった芋も大変美味しく頂戴しました。雨でなければ、参加者も多く活気があり、東北の皆さんへ元気を、有難い募金と一緒に送れたと残念です。チャリティー・コンサート最後の曲・丸ちゃんの“上を向いて歩こう”で涙をこぼさず頑張ろうと願い、東北地方の皆さんへ声援を送って閉会としました。



SA 連協主催 おもちゃフェスタ in 和泉

笹原 義正(高一期)

3月2日(土)に泉北の和泉シティプラザで SA 連協主催の『おもちゃフェスタ in 和泉』が開催されました。SA 吹田から 4 名を含め 21 地区 SA の総勢 72 名が参加しました。SA 吹田ブースは入口正面と立地もよく、松森さんの「飛ぶスペースシャトル」が大人気でした。子ども達が先ず立ち寄り、更

に後から来た子ども達が取り巻くのです。総来場者約百五十人の半数を殆ど一人で対応されておられました。その圧倒的な人気に他の地区 SA 参加者までが覗きに來られ、「さすが SA 吹田」と大好評を博しました。お蔭で見物に参加した金馬会長が慣れぬ手つきで、手伝いに大ハッスルしていました。



万博公園紅梅観賞



3月8日(金)の午後、おもちゃ部会とブロック部会の共催による親睦会「万博公園紅梅観賞会」に参加してきました。当日は、18名の参加があり気温も高く外出するには好都合でした。園内の梅林には紅梅・白梅・一重・八重などの126品種・600本の梅の木があり開花状況も満開で、周囲には花の甘い香りも漂い幸せな気分を味わ



吉川 誠(高大1期)

いました。特に源平のしだれ梅は最高でした。地表近くまで垂れ下がった枝に紅梅花と白梅花がぎっしりと付いて見事なものでした。しだれ梅のまわりには大勢の人たちがカメラに収めていました。梅林の端の方にシートを敷いて梅花の香の中で持ち寄った弁当を開き楽しく歓談、楽しいひと時を過ごしました。

竹とひととのかかわり

松森 一夫 (高 2 期)

昔は竹ほど実生活になじみ多く取り入れられた材料はなかった。昔を思いおこしてもいろいろな竹道具があったことが目に浮かんで数にいとまがないだろう。もともと自然の素材をいろんな角度から見極めてその特徴を知り手を加えて加工し、その家に密着した生活用具や鑑賞の道具として発展してきた。作り手の心のぬくもりが一つ一つに込められそれに触れると温かい人のぬくもりが感じられる。ところが今では合成樹脂が取って代わり、成型の容易さ、耐水性、強度、色彩等が現代になじみ、自然天然素材は遠ざけられてきた。当然今まで多くおられた街の匠と呼ばれる職人の数も減り消費も少なくなると当たり前のように山野は荒れ、竹林も敗退してしまう。放置された竹は他の良木すら竹根をはびこらせて害を及ぼすとして竹は謂われもない厄介者にされているのである。竹は雪の重さをはねのけても立ち上がる雄々しさが、日本人の底力と強い生命力を象徴するように思う



が。いくら表面進化しても日本人のどこかに淡い竹に対する愛着心があるものである。そろそろシーズンがやってくる筈は桜の満開を過ぎたころ、地下温度が 10 度ぐらいになると無数についた地下茎の芽から徐々に地上を目がけて噴き出すように一気に成長する。だが突然春になって芽が急に竹の子になって出てくるのではない。前の年の秋ごろから地下茎の節毎についている芽が準備されじっくり水を吸い上げ地下温度の適当な時期を待機しているのだ。孟宗竹の多い吹田ではこの時期が待ち遠しい。

(次号につづく)

アクティブシニアフェスタ2013芸能交流会

藤川安高(19 期)

去る 2 月 25 日(月)午後 1 時に芸能交流会で SA 連協歌体操部会員 (吹田は加藤、藤川両名) がレセプションホールのステージに歌体操で出演をしました。いままでは、研修の集まりの中ではユニホームがバラバラでやっていましたが意思統一を図るためにも同一のユニホームを作ろうとなり色とマークを決めて作ることが出来ました。そのユニホームを着用して今回の芸能交流会



での歌体操披露でした。過去のフェスタは堺の歌体操グループが出演していただ

いていましたが、今回が SA 連協歌体操部会 (大阪府下全域の 24 地区の SA にて構成される



SA 連協歌体操部会です。月 1 回の研修会を開いている)としては初めてで 14 人で 3 曲を動作しました。メシアターのレセプションホールを半分に仕切った会場でしたが、並んだ椅子は満席で会場の皆さんと一曲は一緒に動作をして楽しんで頂きました。小ホールでは同じ時間帯に音楽の合唱があって、観客が少ないのではと案じていました。

東北復興支援関連ニュース

広報部

3月17日(日)大阪大学構内で「東北被災者家庭子育て支援学習サポート」が行われました。阪大の学生によるこのサポートは23年から定期的にかかれています。

SA吹田も支援学習サポートに参加しています。

当日は学習の後、餅つき大会などで、子ども達もたのしんでいました。

あれから2年・・・

吹田在住の被災者の方は、2年前の頃は食物も住む家も無く身体一つで吹田に来て今、この地に住んで吹田は第二の故郷ですと。フルートで「故郷」を演奏してくれました。

2年経って思う事は、震災で物は失っても、自分の心は何も失っていない。

“吹田の皆さんとこれからも仲良く交流していきたいのでよろしくお願いします”



4月25日(木)は心ふれあいSA吹田の総会です。皆さまのご参加をお待ちしています

SA 吹田 活動予定

SA吹田全般	時間	内容	担当	場所
4月3日(水)	10:30~12:00	おもちゃ部会議例会	丹羽史朗	総合福祉会館
4月12日(金)	10:00~12:00	役員会	藤川	メイシアター3F
4月15日(月)	10:00~12:00	歌体操部会	西村秀子	メイシアター第1練習室
4月25日(木)	13:00~15:30	25年度総会	総務	メイシアター・レプションホール
4月30日(水)	10:00~12:00	ブロック部会/印刷	広報ブロック	亥の子谷コミセン
おもちゃづくり	時間	内容	担当	場所
		予定なし		
国際交流	時間	内容	担当	場所
		予定なし		
福祉部会	時間	内容	担当	場所
		予定なし		
市民塾関係	時間	内容	担当	場所
4月2日(火)	10:00~12:00	歌体操市民塾	加藤昌子	千里市民センター多目的2
4月16日(火)	10:00~12:00	歌体操市民塾	加藤昌子	千里市民センター多目的2

心ふれあいSA吹田会員の皆さま 引き続き会員ご継続のほどよろしくお願い申し上げます

◆編集後記◆

今年も桜が満開になりましたが、心ふれあい SA 吹田通信も毎回ボランティア記事を満開で会員の皆様にお届けしています。(K)

